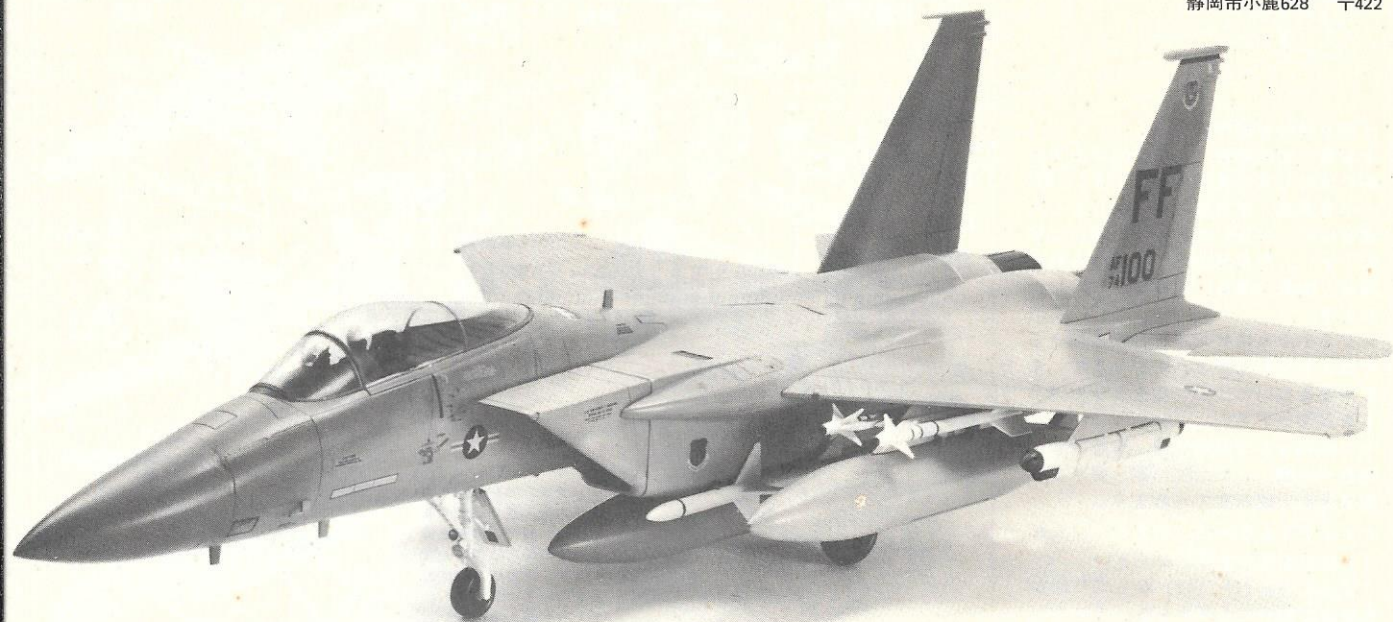


McDONNELL DOUGLAS F15A EAGLE

1/48傑作機シリーズNO.13 マクダネル・ダグラスF-15Aイーグル



静岡市小島628 〒422



1980年代にかけての世界最強の戦闘機と言われるのが、アメリカ空軍のマクダネル・ダグラスF-15イーグルです。

ひとくちに戦闘機といっても、制空用、迎撃用、戦闘爆撃用など主な任務によっていくつかに分けることができますが、F-15は、敵戦闘機を空中で捕捉・撃滅して制空権を確保することを目的とした制空戦闘機として開発されました。

アメリカ空軍が、マクダネル・ダグラスF-4ファントムIIにかわる次の主力戦闘機の研究開発に着手したのは1965年でしたが、1967年にはミコヤンMiG-23フロッガー、MiG-25フォックスバット、スホーイSU-15フラゴンなど、いわゆる第3世代のソビエト戦闘機が出現し、これらを圧倒できる能力を持った戦闘機の必要性が高まって計画には拍車がかげられることになったのです。そして1968年9月、主要航空機メーカー8社での研究が始められ、この各社から提出された案が検討された結果、1969年9月、マクダネル・ダグラス、フェアチャイルド、ノースアメリカン（現ロックウェル）の3社に設計提案要求が出されました。この間、海軍のF-14計画と一本化する案も出されましたが、結局、これは見送られました。というのも、傑作機F-86Fセイバー以来、これといった本格的な制空戦闘機を持たず、その必要性を痛感していた空軍は、独自の戦闘機を開発することを強く主張したからでした。これら3社の案を比較、検討してマクダネル・ダグラスと開発契約が結ばれ、20機のプロトタイプの間文が出されたのは1969年12月で、1972年7月27日にその第1号機が初飛行をしたのです。そして1974年11月、戦術航空軍団(TAC)の第58戦術訓練航空団第555戦術戦闘訓練飛行隊に引渡しが始まり、さらに1976年1月からは、50年の歴史を誇る戦闘機隊の名門、第1戦術戦闘航空団をかきりに実戦部隊への配備が

開始されました。

アメリカ空軍は、F-15を主力として軽量低価格のジェネラル・ダイナミクスF-16を補助に使う予定で、単座のF-15A型、複座のB型合計729機を生産し、1982年までに6個航空団・20個飛行隊に配備することになっています。またアメリカ空軍のほかにも、イスラエル空軍にはすでに引渡しが始まり、日本の航空自衛隊、そしてサウジアラビア空軍も導入を決定しています。

F-15の特徴はいろいろありますが、まず主翼は翼端を切り落したような形の三角翼で、大きなコニカルカンバーとねじり下げを持っていますが、高揚力装置は後縁のフラップだけというシンプルなものなんです。そしてアスペクト比3、前縁後退角45度、翼厚比は6(付根)~3%(翼端)という値で、マッハ0.9前後においての空中戦での運動性を重視していることを物語っています。また、その構造は左右分割で胴内翼などがなく、胴体を細くし、重量や抵抗を減らすことに役立っています。

水平尾翼は、後部胴体側面にアウトリガーを設けて取り付けられていますが、これはできるだけ後方に位置させて効きを高めるためにとられたレイアウトです。なお主翼付根前方からこのアウトリガーにかけて設けられたフェアリングは、空気力学的に良い効果があると同時に主翼と胴体の結合部の重量軽減にも役立っており、さらに機関砲の収容部にも利用されています。垂直尾翼は、着陸時など大迎角状態での効きの低下を防ぐために2枚として背も高いものにされています。

エンジンは、推力7348kg(アフターバーナー使用時は10800kg)のプラット&ホイットニーF-100-PW-100ターボファン2基で、これを胴体後部に並列に搭載しています。空気取入口は、四角い2次元型の変斜板式の外部圧縮型で、入口全体が下側をヒンジとして飛行姿勢に応じて上下に動くようになっ

ているのが特徴です。またチタニウム合金の削り出し部品を大量に使っているのも特徴でその量は機体重量の26.7%に達しています。操縦装置は、メカニカル油圧方式を主に、補助にフライ・バイ・ワイヤー方式と同原理のCASを併用する方式で、仮にCASの機能が失われた状態であっても良好な操縦性を持つと言われています。

武装は、20mmM61A1バルカン砲1門(弾数940発)とスパーロー、サイドワインダー空対空ミサイルの新型4発つつを装備するほか5ヶ所の兵装パイロンがあり、爆弾やミサイル、増槽などを任務に応じて7578kgまで搭載することができます。火器管制装置、攻撃・航法装置は言うまでもなくコンピューターによる完備したもので、その結果、制空用としてはもちろん、対地攻撃用としても超一流の攻撃力を持つことになったのです。さらにFASTバックと呼ばれる着脱式の燃料/兵装パッケージも準備され、その能力は一段と高められます。

1975年1月16日から2月1日の間に、F-15はストリーク・イーグルと名づけられた記録挑戦機で、高度3000、6000、9000、12000、15000、20000、25000、30000mまでの上昇時間の世界記録を樹立しました。このすぐれた上昇力を生み出したのは、1.15~1.35という群を抜いた推力、重量比で、さらにF-86より低い翼面荷重も大きな特徴で、マッハ2.5というスピード、すぐれた加速性や運動性などを生み出しているのです。

たしかに個々の数字だけを取り出せばF-15よりすぐれた機体はありますが、どの性能をとっても一級であり、それらや攻撃力が高度にバランスがとれているのはF-15だけと言ってもよいでしょう。これが、F-15が世界最強の戦闘機と高く評価されている理由であり、その王座は当分の間、ゆるがないものと見られています。



作る前にお読み下さい

《作る前にお読み下さい》

★お買い求めの際、または組み立ての前には必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組み立てを始められた後は、製品の返品、交換などに応じかねます。

★タミヤからはピン入りの接着剤タミヤセメントが別売されております。モデルをきれいに仕上げるタミヤセメントをお使い下さい。

★このキットは飛行状態、着陸状態（脚カバー開、または閉）等、好きな状態を選んで組み立てられます。

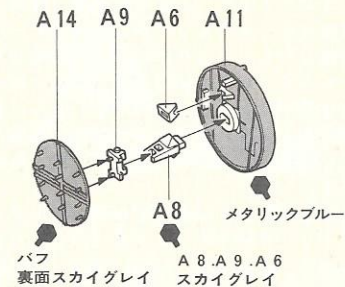
★ナイフ、ニッパー、ヤスリ、ピンセット等の工具を用意して下さい。

★部品をランナー（枝）から切りはなす場合には手でもぎとらないでニッパーやナイフ等でいねいに切り取って下さい。

●これは塗装指示のマークです。全体の塗装は7.8ページに指示しました。各部の塗装色名はバクトラミヤの色名で指示してあります。塗料は必ず、プラスチックモデル用をお使い下さい。

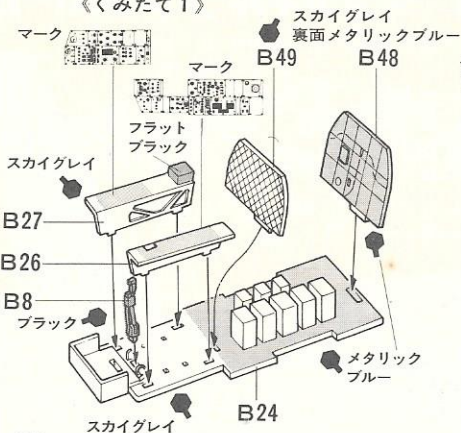
3 《機体下部のくみため》

《APG-63レーダー》



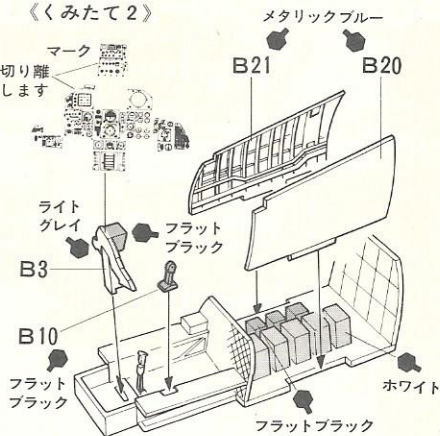
1 コクピットのくみため

《くみため1》



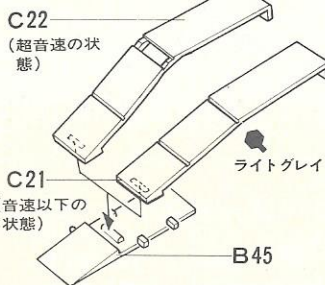
★接着する前に必ず部品と部品の組み合わせを確かめて下さい。

《くみため2》



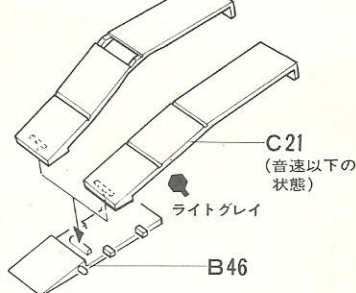
2 エアインテークのくみため

《ランプ左》

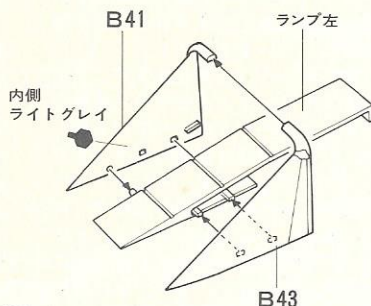


ランプは、エンジンへの空気の流入量を調節するために、超音速の時に音速以下の時は角度が異なります。両方の状態の部品がついていますから、どちらか選んで下さい。

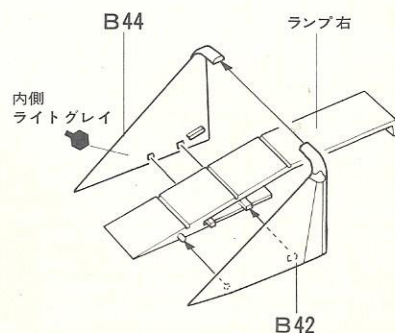
《ランプ右》



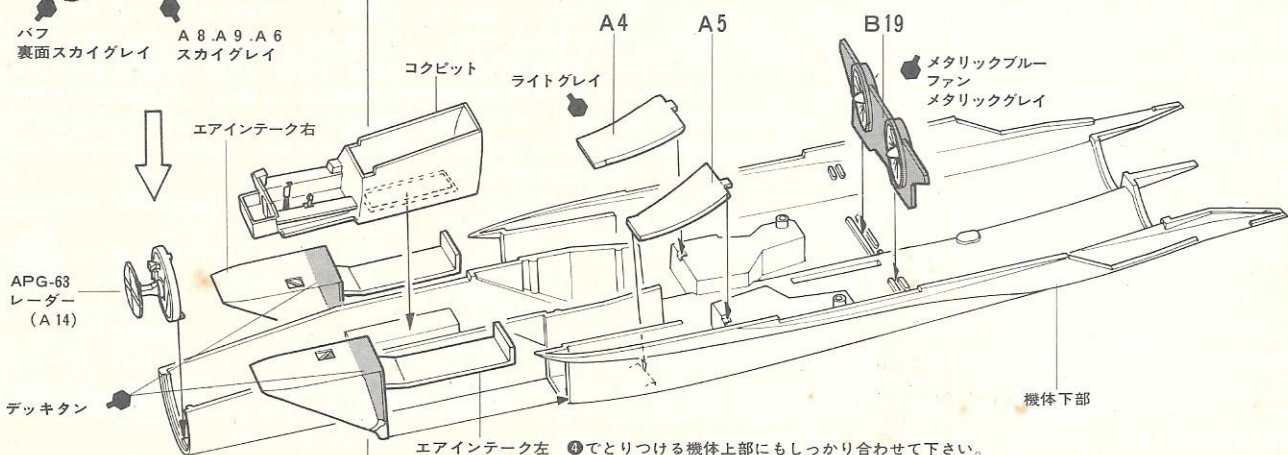
《エアインテーク左》



《エアインテーク右》



3 機体下部のくみため

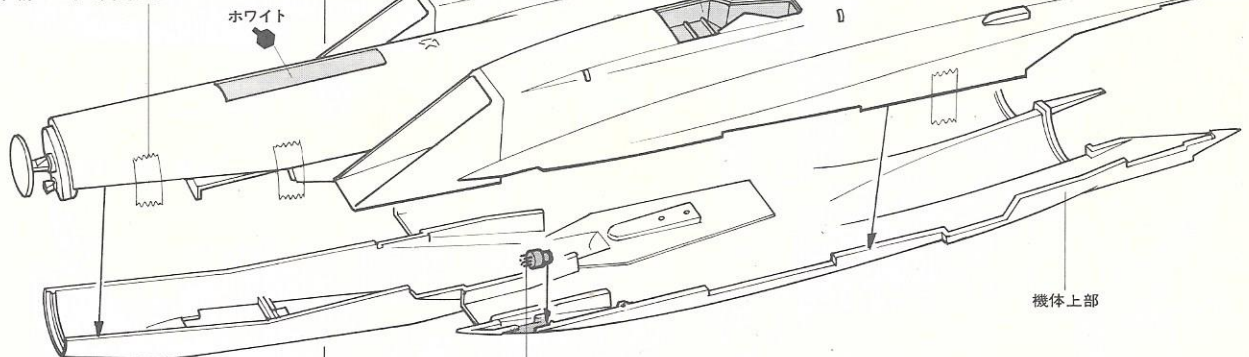


エアインテーク左 ④でとりつける機体上部にもしっかり合わせて下さい。

4 《機体上部のとりつけ》

最初にB17を機体上部にとりつけます。機体下部は機体上部にしっかり接着し、接着剤が乾くまでセロファンテープや輪ゴム等で固定します。

接着剤が乾くまでセロファンテープ、輪ゴム等で固定します。



4 機体上部のとりつけ

★最初にB17をとります。 ● ホワイト

機体下部

機体上部

B17 最初にとりつけます。 ● ガンメタル

5 《翼のとりつけ》

各部品は番号を確かめ図に示した場所にとりつけて下さい。

5 翼のとりつけ

A2 A16

C8

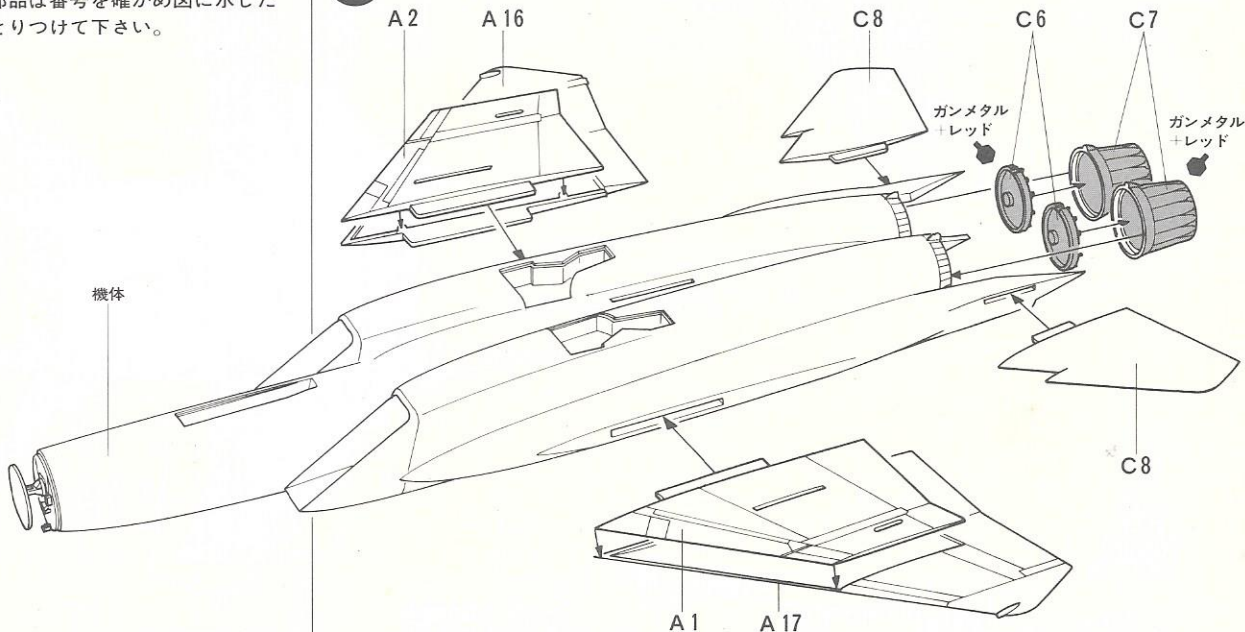
C6

C7

ガンメタル
+レッド

ガンメタル
+レッド

機体



6 《前脚のくみ込》

飛行状態にする場合は作りません。各部品は下の原寸図のとりつけ位置に合わせて接着して下さい。

6 前脚のくみ込

★各部品は左図に合わせてとりつけます。

《くみ込1》

《くみ込2》

《原寸図》

ホイール
(ブラック)

B15(B16)

(クロム
シルバー)

D2

D1

B2

B13

(クロム
シルバー)

ボルト
(ホワイト)

(フラット
ブラック)

フラット
ブラック

B34

B1

B12
(B11)

フラットブラック

B16

前脚金具

B15

ホイール
ブラック

B12

ホワイト

スカイグレイ

D2

D1

B13

ホワイト

ブラック

ボルト
ホワイト

マーク⑳

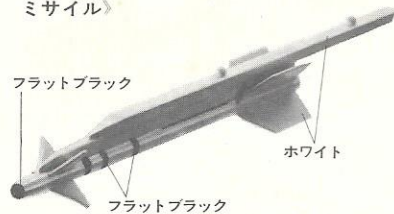
B34

裏面
ホワイト

B1

10 <ミサイルのくみたち>
下の写真を参考に塗装します。

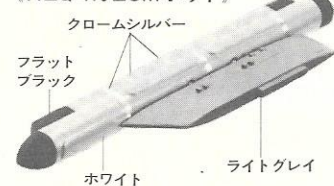
<AIM-9Lサイドワインダー空対空ミサイル>



<AIM-7Fスパロー空対空ミサイル>



<ALQ-119ECMポッド>



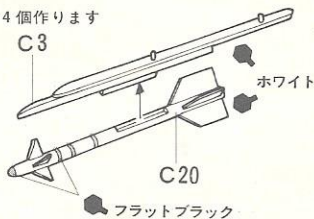
<使用する塗料>

ブラック	X 1
ホワイト	X 2
ガンメタル	X 10
クロームシルバー	X 11
メタリックブルー	X 13
フラットブラック	X F 1
フラットアルミ	X F 16
スカイグレイ	X F 19
メタリックグレイ	X F 56
ダークグリーン	X F 61
オリーブドラブ	X F 62
ライトグレイ	X F 66

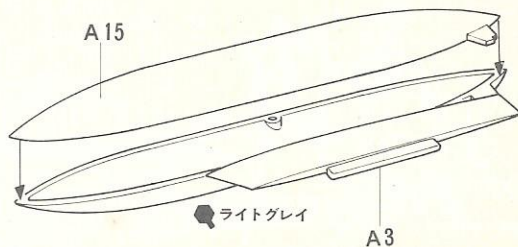
10 ミサイルのくみたち

<AIM-9Lサイドワインダー空対空ミサイル>

★4個作ります

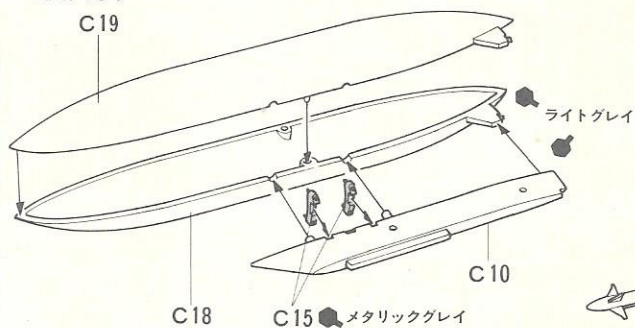


<増槽A>

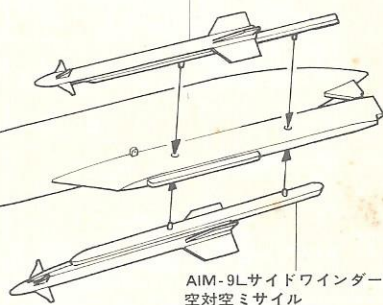


<増槽B>

★2個作ります



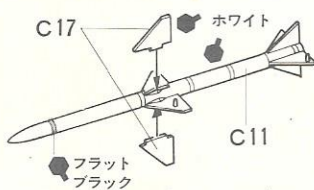
AIM-9Lサイドワインダー空対空ミサイル



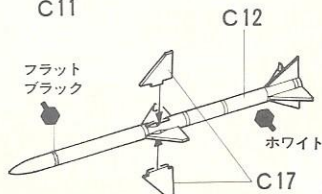
AIM-9Lサイドワインダー空対空ミサイル

<AIM-7Fスパロー空対空ミサイル>

<右>★2個作ります

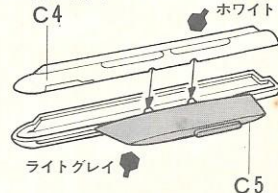


<左>★2個作ります



<ALQ-119ECMポッド>

★2個作ります



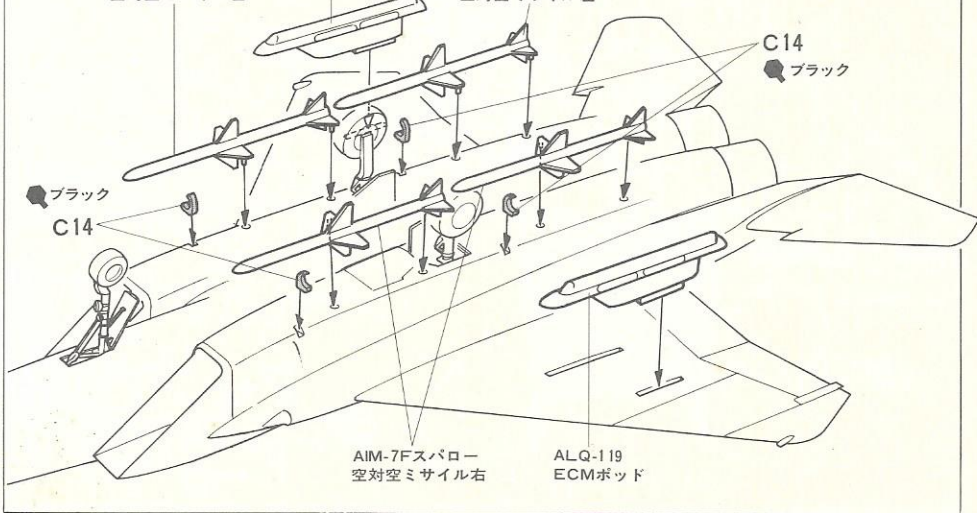
11 ミサイルのとりつけ

★ミサイルをつける前に機体にマークを貼って下さい。

AIM-7Fスパロー空対空ミサイル左

ALQ-119ECMポッド

AIM-7Fスパロー空対空ミサイル右



McDONNELL DOUGLAS
1/48 F15A EAGLE

部品を紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸めてかこみ代金を現金書留で田宮模型アフターサービス係までお申し込み下さい。

A 部品	500円
B 部品	450円
C 部品 (1枚)	450円
D 部品	300円
胴体上部と下部	600円
マーク	200円

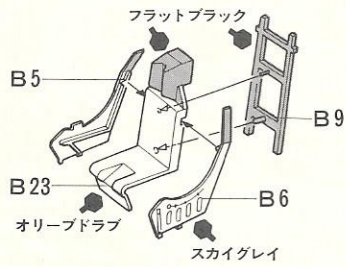
8205 1/48 F15A イーグル

上記の価格は予告なく変更となる場合があります、ありますので御諒承下さい。

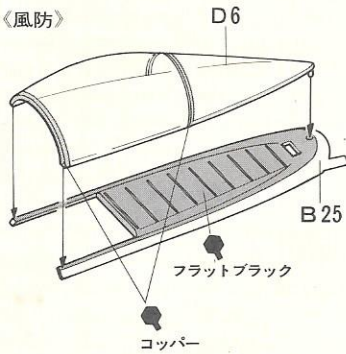
田宮模型
静岡市小鹿628 千422

14 <コクピット部のくみ立て>

<パイロットシート>



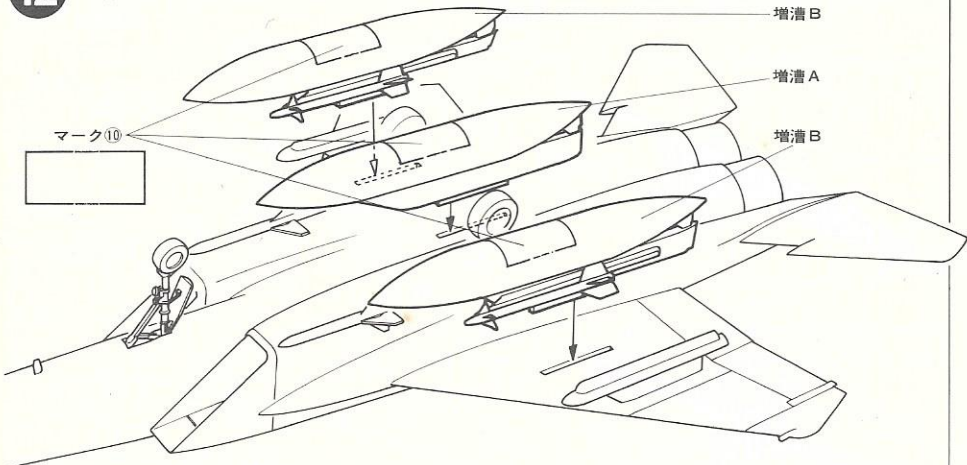
<風防>



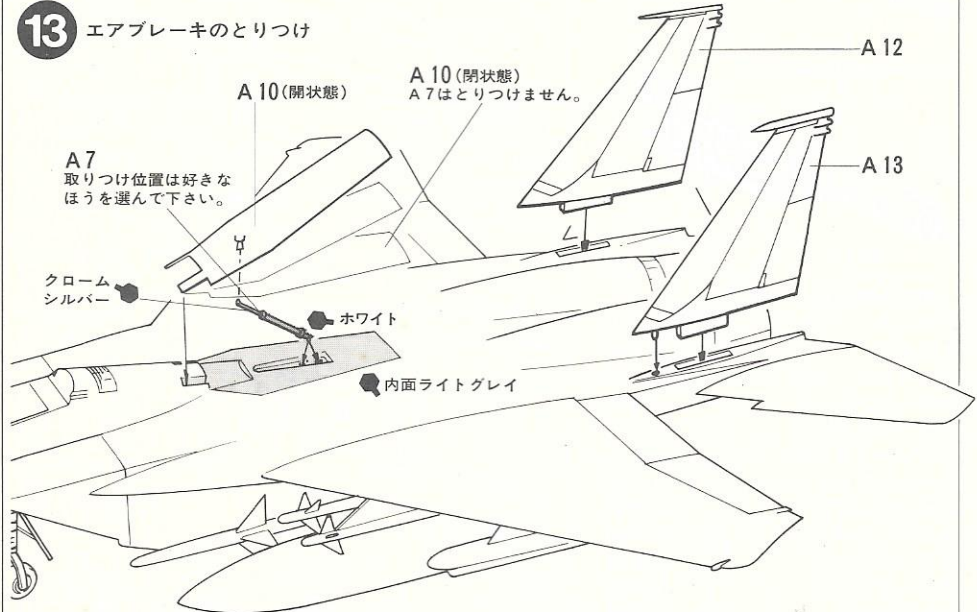
<パイロットの塗装>



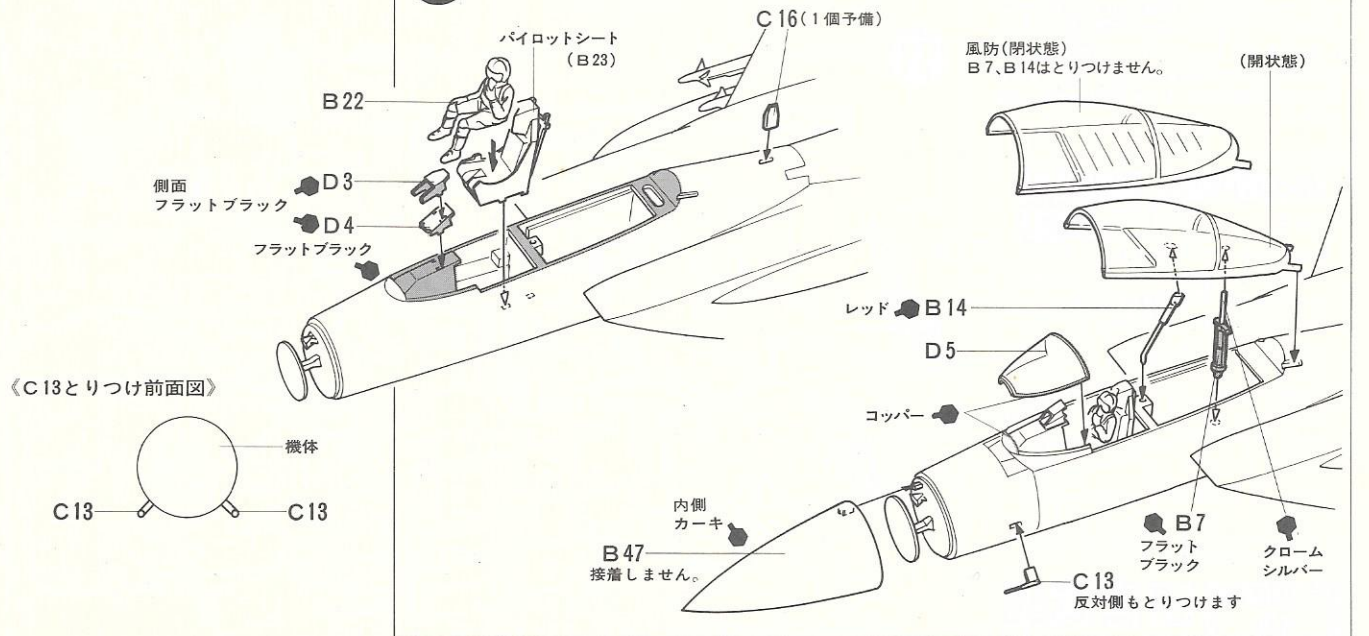
12 増漕のと取り付け



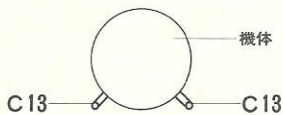
13 エアブレーキのと取り付け



14 コクピット部のくみ立て

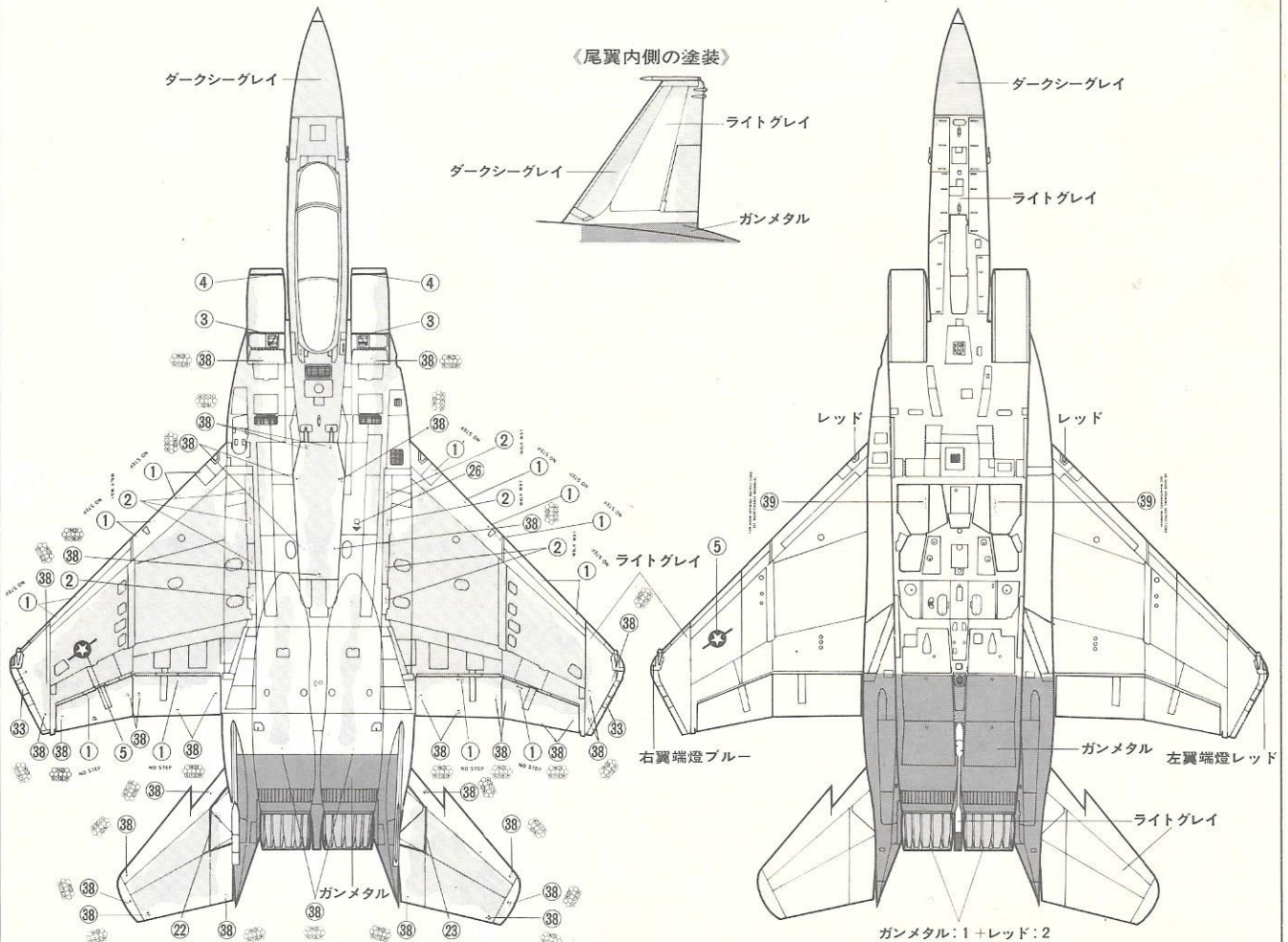
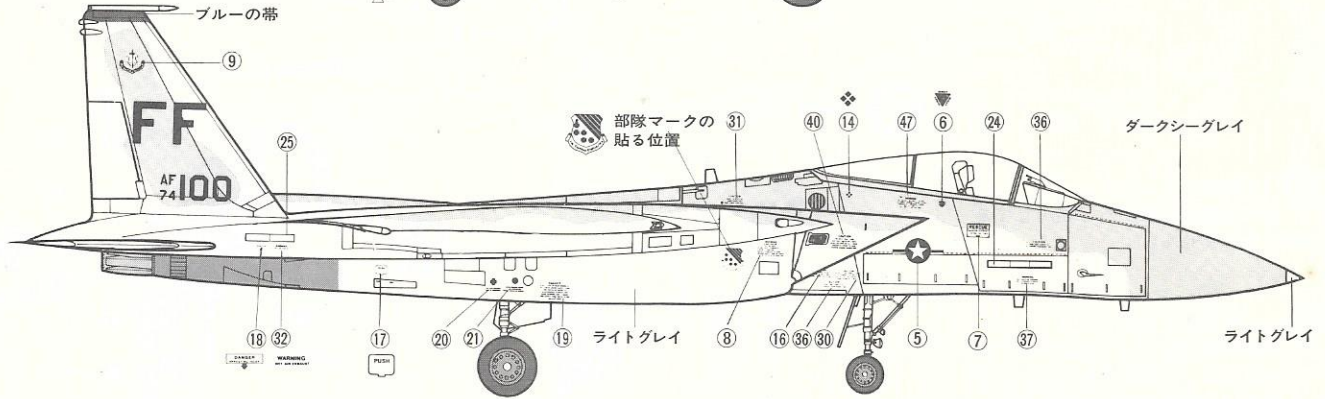
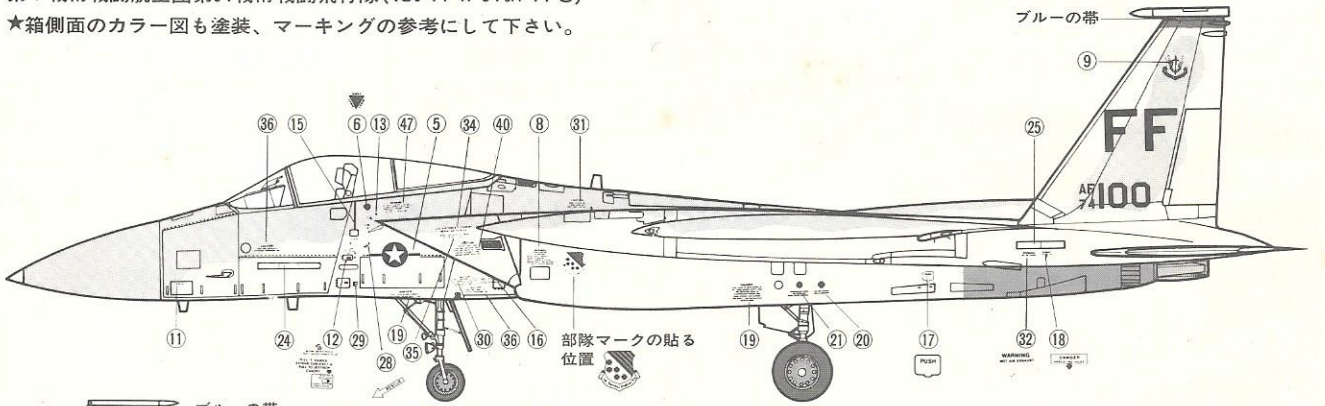


<C13とりつけ前面図>



第1 戦術戦闘航空団第94戦術戦闘飛行隊 (1st TFW 94th TFS)

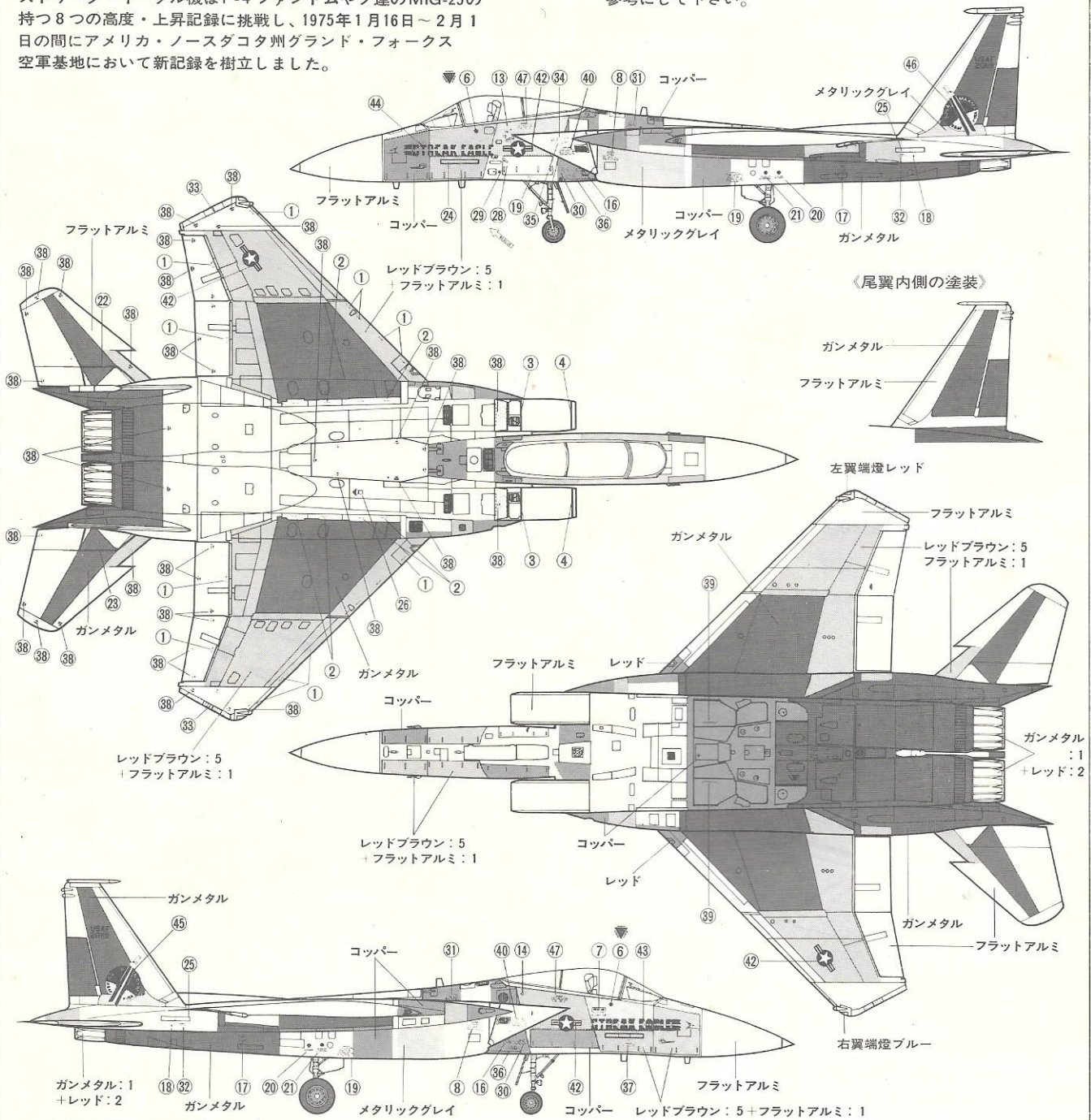
★箱側面のカラー図も塗装、マーキングの参考にして下さい。



ストリーク・イーグル機

ストリーク・イーグル機はF-4 ファントムヤソ連のMIG-25の持つ8つの高度・上昇記録に挑戦し、1975年1月16日～2月1日の間にアメリカ・ノースダコタ州グランド・フォークス空軍基地において新記録を樹立しました。

★箱側面のカラー図も塗装、マーキングの参考にして下さい。



★下の4機の塗装と共通マーク及び部隊マークの貼る位置は7ページの機体と同じです。

第36戦術戦闘航空団
第525戦術戦闘飛行隊
(36th TFW 525th TFS)

第49戦術戦闘航空団
第52戦術戦闘飛行隊
(49th TFW 7th TFS)

第57戦術訓練航空団
第433戦術飛行隊
(57th TFW 433rd FWS)

第58戦術訓練航空団
第555戦術戦闘訓練飛行隊
(58th TFW 555th TFS)

